

はじめに

東日本大震災ならびに福島第一原発の事故で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。フジタグループは、被災地域の復旧・復興に向け全力で取り組んでおり、これらの取り組みを通じて当社の企業理念

「自然を 社会を 街を
人の心を 豊かにするために
フジタは たゆまず働く」

の実践を行ってまいります。

当社は、昨年12月1日に創業100周年を向かえ、新たな100年に向けて始動いたしました。これまでの歴史の中で数多くの実績により蓄積された建設・都市再生のノウハウはもとより、中国などアジアを中心としたグローバルマーケットや環境分野・ストックビジネスなどフジタの強みを生かせる新たな領域において、お客様へのトータルソリューションの提供を図っています。

研究開発部門においても、1960年に技術研究所が設立してから昨年50周年を向かえています。次の50年に向けて経営戦略に基づき中期技術開発戦略を見直し、技術開発の重点分野を、①現業主導型の建設基盤技術と②ビジネス主導型の技術（環境・ストック・グローバル化）に絞って進めている所です。もちろん、東日本大震災であらためて必要性が強く認識された防災・省エネ技術、安心・安全の街づくりのための技術は、重要な建設基盤技術であることは言うまでもありません。特に、防災については「想定外」が許されないことや冗長性が求められることを、省エネに関してはエネルギーの大幅削減が将来でなく現実であることを強く認識し、その技術開発を進めてまいります。

おかげさまで技術研究報告は47回目の発行となりましたが、ここで紹介する技術は、そのほとんどがお客様に使っていただいたものとなっています。今後ますますお客様のニーズを先取りしたソリューションを提供するために、工事部門・営業部門と強いつながりを持って技術開発を進めてまいります。今後とも皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成23年（2011年）10月 執行役員 技術センター所長 小林勝巳